

課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
15105006	高耐久性フォトクロミックジアリールエテンを用いる単一分子光メモリ	入江 正浩 (立教大学・理学部・教授)	A+
<p>従来のフォトクロミック分子の問題点は、光照射を繰り返し行うことにより、分子が予期しない光化学反応を起こして劣化することである。これを避けるためにトリガー部と応答部を分離する着想とペリレン部及びジアリールエテン部を有する分子を合成して、単一分子光メモリを実現したことに、最も本研究の意義がありその成果は多大なものである。また、分子が存在する場によって光応答の時間分布が異なるという新現象を見出し、これが物理学者・物理化学者の興味を引き、新しい研究の広がりを見せている。</p> <p>発表論文は質が高く、分子工学分野の発展にも大きく寄与すると考えられる。</p>			